

日本スポーツ 心理学会

第53回大会

プログラム

2026年 10/16_金・17_土・18_日

JSSP 2026 53rd
Annual Conference Program



目次

1. はじめに	
ご挨拶	4
会場へのアクセス	5
会場案内図	6
情報交換会会場へのアクセス	8
2. 大会参加・発表に関するお願い	
大会参加者へのご案内	10
研究発表者へのご案内	12
座長・司会者へのご案内	14
3. スケジュール	
<u>10月16日（金）</u>	
スポーツメンタルトレーニング指導士全国研修会	16
スポーツメンタルトレーニング指導士資格取得講習会	18
理事会	19
会員企画自主シンポジウム	19
<u>10月17日（土）</u>	
大会企画シンポジウム	20
ポスター発表	20
学会企画シンポジウム	20
総会・名誉会員記授与式	20
情報交換会	20
<u>10月18日（日）</u>	
口頭発表	21
ラウンドテーブル・ディスカッション	21
4. 一般発表演題一覧	
口頭発表 A～C	23
ポスター発表 A・B	28

1. はじめに

ご挨拶

会場へのアクセス

会場案内図

情報交換会会場へのアクセス

ご挨拶

この度、日本スポーツ心理学会第53回大会をカクイックス交流センター（かごしま県民交流センター）にて開催させていただくことになりました。この第53回大会は、大会企画シンポジウム、学会企画シンポジウムに加えて、口頭発表20題、ポスター発表88題、会員企画自主シンポジウム3題、ラウンドテーブル・ディスカッション3題と、多くの演題が予定されています。参加申込み数も8月25日現在で303名となり、多くの方々にご参加いただけることになりました。本大会に参加および発表の申込みをいただきました皆様方に深く感謝申し上げます。

本大会の開催にあたりましては、大会実行委員会の皆様をはじめ、多くの方々のご協力をいただきました。多忙な日々のなか、本大会の準備のために貴重な時間を割いていただきましたこと、深く御礼申し上げます。

また今年度は、鹿児島の人々から情の人として愛されてきた明治維新の中心人物である西郷隆盛翁の生誕200年、没後150年と節目の時です。その節目の時に近代日本黎明の場であるこの場所で本学会の新たな前進へとつながるための学术交流や深い学びがなされることを祈念しております。

日本スポーツ心理学会第53回大会実行委員長
鹿屋体育大学 森 司朗

会場へのアクセス

大会会場

カクイックス交流センター

(かごしま県民交流センター)

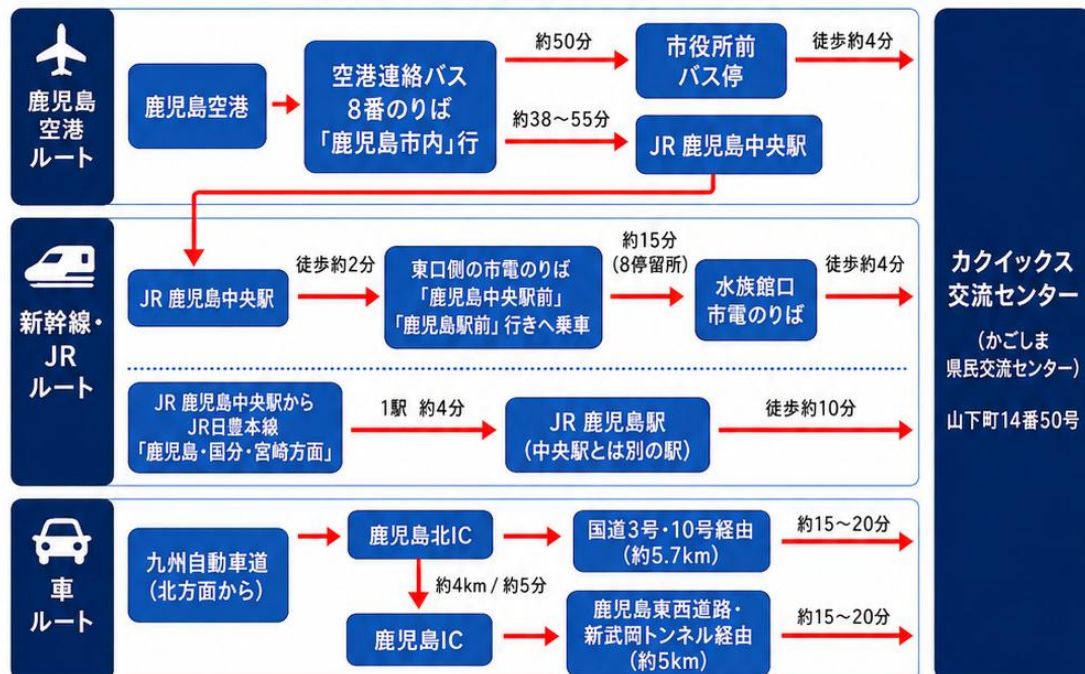
〒892-0816 鹿児島県鹿児島市山下町 14 番 50 号

<https://www.kagoshima-pac.jp/access/>

会場公式アクセス



主要交通機関からのアクセス



- **鹿児島市電**：鹿児島市交通局の路面電車です。「鹿児島駅前」行きに乗り、「水族館口」で下車します。
- **空港連絡バス**：8 番のりばから「鹿児島市内」行きへ。鹿児島中央駅まで約 38～55 分。市役所前停車便は約 50 分です。
- **JR 鹿児島駅**：鹿児島中央駅とは別の駅です。中央駅から日豊本線で 1 駅、または宮崎・都城・霧島方面から下車します。
- **自家用車**：会場駐車場は 30 分毎につき 150 円（受付での認証処理により 2 時間まで無料）がかかります。

時刻表・最新交通情報・地図



空港バス



市電時刻表



JR運行情報

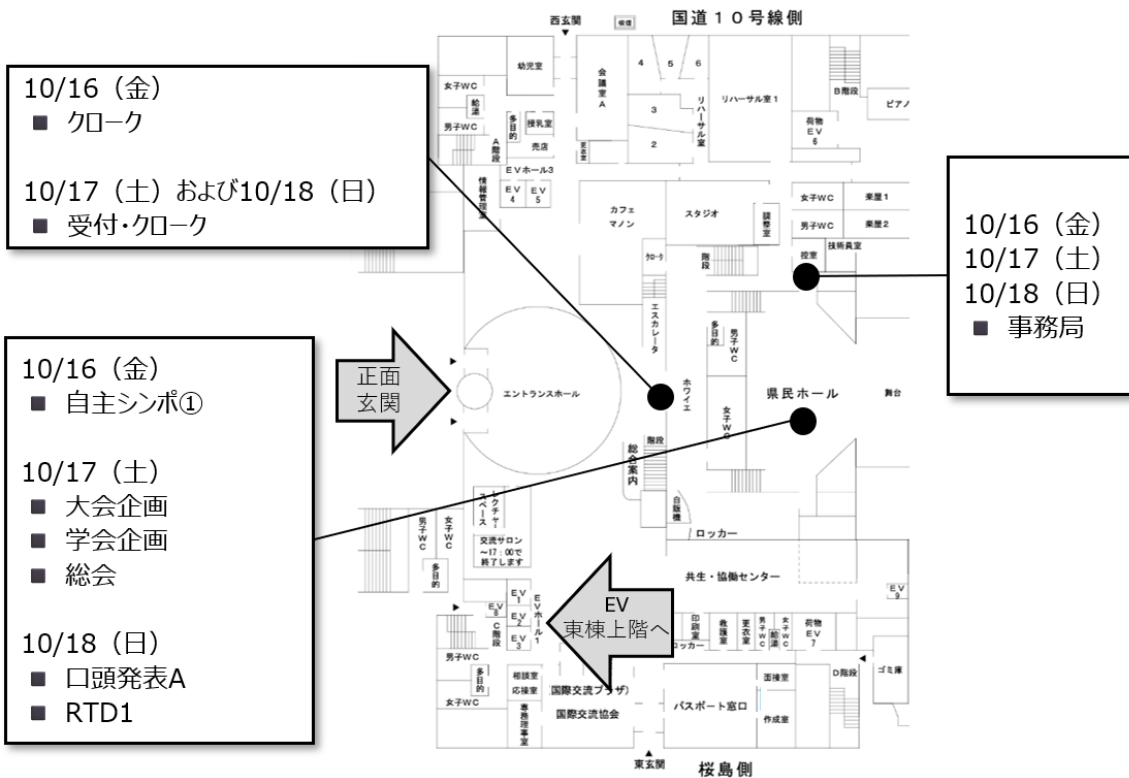
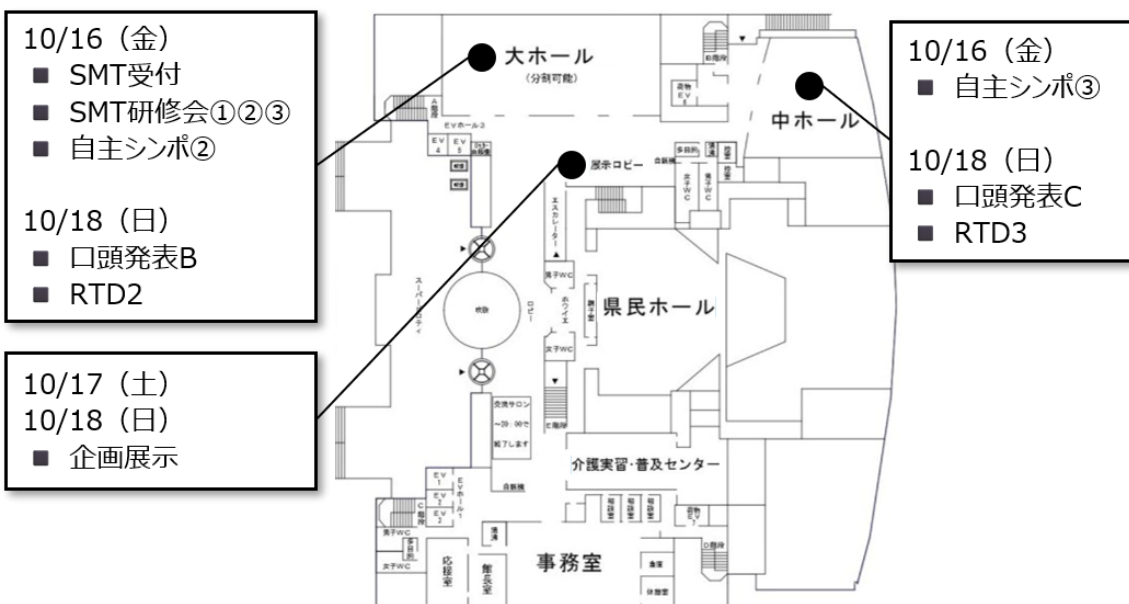


Googleマップ

※所要時間は目安です。道路状況やダイヤ改正により変わる場合があります。ご利用前に最新情報をご確認ください。

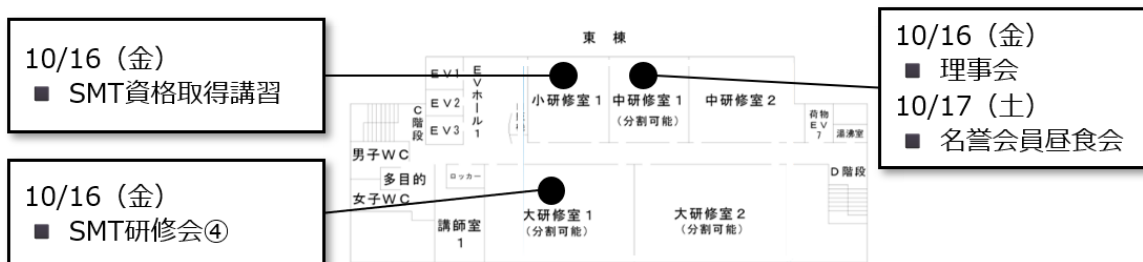
会場案内図

1 F

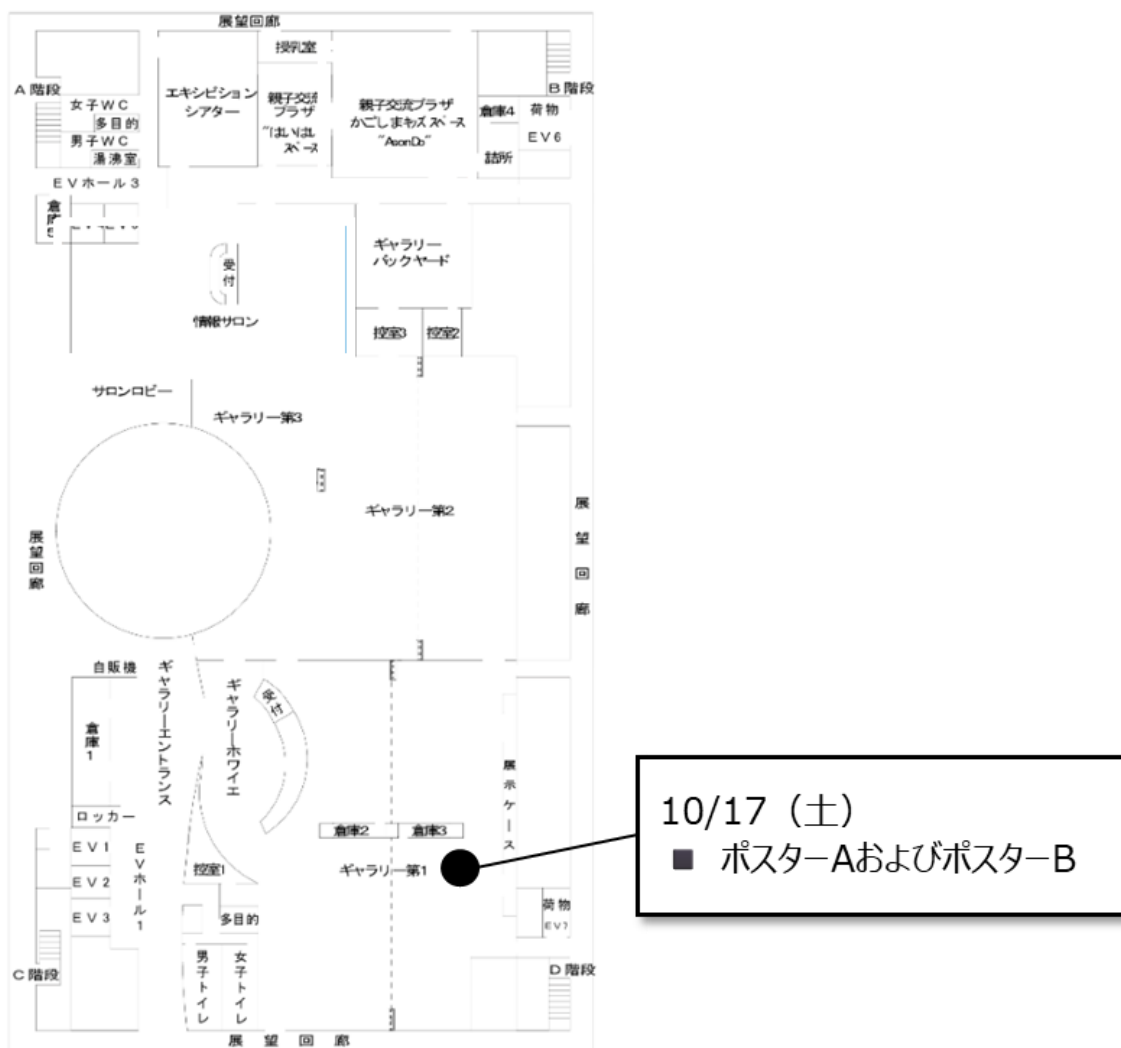
 $2F$ 

※館内の Kagoshima_Free_Wi-Fi の利用は 1F ロビーに限られます。必要な方は必ずご持参ください。

東棟3F



6F



※館内のKagoshima_Free_Wi-Fiの利用は1Fロビーに限られます。必要な方は必ずご持参ください。

情報交換会会場へのアクセス
(学会会場より 800m、徒歩 10 分)



10/17 (土)
■ 情報交換会 (山形屋ふるさと食堂)

2. 大会参加・発表に関するお願い

大会参加者へのご案内

研究発表者へのご案内

座長・司会者へのご案内

大会参加者へのご案内

1. 受付

- 受付場所は1F ホワイエです。受付時間は、10月16日（金）が16時30分～18時、17日（土）が8時30分～17時00分、18日（日）が9時00分～13時00分です。
- 受付時に領収証をお渡しします。原則、再発行は致しませんので紛失しないようご注意ください。また、受付時にネームカード（参加証）をお渡しします。会場に入場される際、ならびに情報交換会に参加される際には必ずネームカードを着用して下さい。カードに記載された情報をもとに入場確認を致しますので、大会中は必ず着用して頂きますよう、よろしくお願い致します。
- 大会参加にあたりましては、事前の web 登録をお願い致します。会場の都合により当日参加はできませんのでご注意ください。

<大会参加費>

会員一般 8,000 円 会員大学院生 2,000 円

非会員（一般/学生）10,000/5,000 円

<情報交換会参加費>

4,000 円（大学院生は 1,000 円）

<研究発表抄録集>

一冊 2,000 円（事前申込者には発送済み）

- 学会開催当日は会場の都合により抄録集を販売できませんので、事前に web にてお申込み下さい。

2. 会場について

- クローク：10月16日（金）・17日（土）・18日（日）は1F ホワイエ内にクロークを用意しています。ただし、貴重品および機材（PC、携帯電話など）等についてはお預かりできませんので予めご了承下さい。クローク利用時間は、10月16日（金）が9時30分～20時15分、17日（土）が8時30分～18時00分、18日（日）が9時00分～15時00分です。クロークの終了時間をお守り下さいますようお願い致します。
- 喫煙：喫煙される方は2F スーパーピロティ（屋外）端の喫煙場所をご利用下さい。館内は禁煙となっております。
- 機器展示：10月17日（土）と18日（日）に2F 展示ロビーにて行います。
- 休憩室：県民ホールおよび中ホールはご飲食いただけません（大ホールは可）。その他、ご歓談頂けるスペースとして、1F カフェマノン、1F エントランスホール、1F レクチャースペース、西棟 6F 情報サロンなどがございます。
- 10月17日（土）の情報交換会は「山形屋ふるさと食堂（800m、徒歩 10 分）」で行います。

3. 食事について

- 会場内にはカフェマノンがありますが、限りがございます。周辺にはあまり飲食店がありませんので、事前のお弁当注文を行うか、各自ご用意ください。

4. 大会会場での写真・ビデオ撮影等について

本学会大会では、大会会場での写真・ビデオ等の撮影および録音は、一切認めておりません。したがって、本大会会場での口頭発表、ポスター発表、シンポジウム、ラウンドテーブル・ディスカッションの撮影・録音等をご遠慮下さいますようお願い致します。なお、学会事務局や大会事務局が大会の記録のために、写真・ビデオ等の撮影を行うことがあります。ご了承下さい。

研究発表者へのご案内

- 本大会では発表証明書を発行することが可能です。ご希望の方は事前に大会実行委員会（conf@jssp.jp）へご連絡ください。

シンポジウム・RTD・一般発表（口頭発表）の演者の皆様へ

1. 発表およびスライド作成に関して（機材、ソフトウェアなど）

- 各会場にはプロジェクターを用意致します。パソコンは、事前のお申し出をされた方以外は、各自ご用意ください。プロジェクターの端子は HDMI です。他の端子をご利用の場合は、変換コネクタを含めご自身でご用意下さい。

2. 配布資料を利用される場合

- 大会本部では、配布資料の印刷をお引き受けすることはできません。配布資料をご利用の場合は、当日の必要部数をご持参頂きますようお願い致します。

3. 発表受付

- 一般発表（口頭発表）の演者の方は、10月18日（日）セッション開始 10 分前までに発表会場にて発表受付をお済ませ下さい。セッションの際は、前の演題の発表開始時に、次演者席にご着席下さい。

4. 発表時間（一般発表（口頭発表））

口頭発表は、1 演題につき 19 分（発表時間 14 分、質疑応答 5 分）です。

12 分経過・・・1 回目 ♪

14 分経過・・・2 回目 ♪ ♪

19 分経過・・・3 回目 ♪ ♪ ♪（質疑応答打ち切り）

♪：ベル音

一般発表（ポスター発表）の発表者の皆様へ

1. ポスターの作成

- 掲示パネルは、縦 210 cm×横 90 cm（縦長）の寸法です。
- ポスター上部に、演題名、筆頭発表者名、共同発表者名、所属をご明示下さい。

2. 発表受付

- ポスターセッションの開始 10 分前までに、ポスター発表会場前の受付にて発表受付をお済ませ下さい。

3. 発表

- ポスター発表には、ポスター発表A：10月17日（土）11時15分～12時15分、ポスター発表B：10月17日（土）13時15分～14時15分の2セッションがあります。どちらのセッションで発表されるか事前に必ずご確認ください。

ポスター発表A：10月17日（土）
責任着座時間 11時15分～ 12時15分

ポスター発表B：10月17日（土）
責任着座時間 13時15分～ 14時15分

- ポスター掲示可能時間は、10月16日（金）は16時30分～18時00分、10月17日（土）は8時30分～を予定しています。
- 各パネルの上部に演題番号が表示されておりますので、当該のパネルをご使用下さい。
- ポスターセッション終了時刻（14:15）を過ぎましたら、速やかにポスターの撤収をお願い致します。

座長・司会者へのご案内

口頭発表座長の皆様へ

- 大会参加の受付時に、座長を担当する旨を大会スタッフにお伝え下さい。
- 担当セッションの開始 10 分前までに、発表会場にお越し下さい。
- 各会場には、タイムキーパー、マイク係、パソコン・プロジェクター管理補助者各 1 名を配置致します。
- 終了時刻の厳守にご協力をお願い致します。

自主シンポジウム・RTD の司会者の皆様へ

- 各セッションの進行は、司会者・企画者のご裁量にお任せ致します。
- 各会場に、タイムキーパー、マイク係は配置されませんのでご注意ください。
- 終了時刻の厳守にご協力をお願い致します。

3. スケジュール

10月16日（金）

10月17日（土）

10月18日（日）

10月16日（金）

■スポーツメンタルトレーニング指導士全国研修会（大ホール・東棟3F 大研修室 1）

9時45分～10時15分 受付（大ホール前）

午前

10時15分～10時35分

■資格委員会より（大ホール）

資格委員会委員長：武田 大輔（東海大学）

資格審査部門部門長：江田 香織（東洋大学）

10時35分～11時45分

■研修会（セッション）1：話題提供（大ホール）

「専門性をめぐる葛藤体験から、SMT 指導士のあり方を見つめ直す」

司 会：中山 亜未（株式会社ミツフクコーポレーション）

話題提供：近藤 みどり（宮城学院女子大学）

話題提供：伊藤 麻由美（帝塚山大学）

話題提供：門岡 晋（岩手大学）

午後

12時45分～14時15分

■研修会（セッション）2：レクチャー&ワークショップ（大ホール）

「SMT 指導士を“職業”として考える ―資格取得の先にあるもの―」

司 会：奥野 真由（久留米大学）

指定討論：蓑内 豊（北星学園大学）

話題提供：村上 妃斗美（プロフェッショナル Ms）

話題提供：武田 守弘（広島文化学園大学）

14時30分～16時40分

■研修会（セッション）3：事例検討（資格取得者限定）※上限 150 名（大ホール）

「競技審判員に対する心理支援」

司 会：平山 浩輔（帝京平成大学）

発表者：阿部 成雄（法政大学）

指定討論者：調整中

指定討論者：調整中

14 時 30 分～16 時 30 分

■研修会（セッション）4：レクチャー&ワークショップ（東棟3階大研修室 1）

「SMT 指導士としてのあり方を考える—どんな専門家になりたいか—」

司会・進行：野崎 真代（日本大学）

話 題 提 供：平木 貴子（日本大学）

話 題 提 供：松原 旭飛（日本体育大学大学院）

10月16日（金）

■スポーツメンタルトレーニング指導士資格取得講習会（東棟3F 小研修室 1）

10時20分～ 受付（東棟3階小研修室 1）

10時40分～10時50分 資格委員会委員長による挨拶：武田大輔（東海大学）

10時50分～11時40分 「資格と責務」

講師：土屋裕睦（大阪体育大学，日本スポーツ心理学会 会長）

11時50分～12時40分 「対象者の特性・特徴を考えたサポートの重要性」

講師：平山浩輔（帝京平成大学，資格委員会資質向上部門長）

13時40分～14時30分 「自己研鑽の意義と資質向上の機会」

講師：武田大輔（東海大学，資格委員会 委員長）

14時40分～15時30分 「SMT 指導士の社会連携における，情報発信の際の注意点」

講師：園部 豊（帝京平成大学，資格委員会社会連携部門長）

15時40分～16時30分 「新規資格取得と更新・移行」

講師：江田香織（東洋大学，資格委員会資格審査部門長）

16時30分～16時40分 諸連絡

10月16日（金）

17時00分～19時00分 ■理事会（東棟 3F 中研修室 1）

18時00分～20時00分

■会員企画自主シンポジウム 1（県民ホール）

「スポーツにおける認知行動療法の最前線：実践と研究の更なる発展に向けて」

企画：栗林 千聡（専修大学）

司会：榎本 恭介（清和大学）

話題提供者：栗林 千聡（専修大学）

井上 和哉（同志社大学）

平田 大智（関西学院大学大学院）

■会員企画自主シンポジウム 2（大ホール）

「アスリート主体の学びと支援環境のデザイン

：メンタルヘルス・月経教育・学校保健をめぐる」

企画・司会：小塩 靖崇（東京大学）

話題提供者：小塩 靖崇（東京大学）

伊藤 華英（一般社団法人スポーツを止めるな）

山合 洋人（筑波大学附属駒場中・高等学校）

甲谷 勇平（慶應義塾大学）

■会員企画自主シンポジウム 3（中ホール）

「実践事例に学ぶスキル獲得支援 —Skill Acquisition Specialist の轍—」

企画：福原 和伸（東京都立大学）

中本 浩揮（鹿屋体育大学）

田中 美吏（武庫川女子大学）

村山 孝之（金沢大学）

國部 雅大（筑波大学）

司会：福原 和伸（東京都立大学）

話題提供者：中村 大輔（公益財団法人日本サッカー協会）

小峯 秋二（北翔大学）

林 大貴（鹿屋体育大学大学院）

林 剛志（鹿屋体育大学大学院）

原 蘭 迪子（東京都立大学大学院）

10月17日(土)

9時00分～11時00分

■大会企画シンポジウム(県民ホール)

「スポーツ心理学における「運動発達」研究の可能性

ー「発達」から「障がい」までー

話題提供者：伊藤 亜紗(東京科学大学)

西尾 千尋(甲南大学)

樋口 貴広(東京都立大学)

企画・司会：森 司朗(鹿屋体育大学)

11時15分～12時15分

■ポスター発表A(6F ギャラリー第1)

13時15分～14時15分

■ポスター発表B(6F ギャラリー第1)

14時30分～16時30分

■学会企画シンポジウム(県民ホール)

「学術的背景(エビデンス)に基づく心理サポートについて考える」

話題提供者：雨宮 怜(筑波大学)

荒井 弘和(法政大学)

村山 孝之(金沢大学)

指定討論者：荒木 香織(順天堂大学/(株)CORAZON)

企画・司会：菅生 貴之(大阪体育大学)

16時45分～17時45分

■総会・名誉会員記授与式(県民ホール)

18時15分～20時00分

■情報交換会(山形屋ふるさと食堂)

10月18日(日)

9時30分～12時05分 ■口頭発表(県民ホール・大ホール・中ホール)

9時30分～10時30分

OA-1 セッション(県民ホール) 座長：小谷 克彦 (北海道教育大学)

OB-1 セッション(大ホール) 座長：川田 裕次郎 (順天堂大学)

OC-1 セッション(中ホール) 座長：山本 耕太 (北星学園大学)

10時45分～12時05分(OA-2は11時45分)

OA-2 セッション(県民ホール) 座長：西田 順一 (近畿大学)

OB-2 セッション(大ホール) 座長：門岡 晋 (岩手大学)

OC-2 セッション(中ホール) 座長：長谷川 弓子 (中京大学)

13時15分～14時45分

■ラウンドテーブル・ディスカッション1(県民ホール)

「身体心理学から考えるアスリートのメンタルサポート」

企画・司会：佐々木 丈予(東京成徳大学)

話題提供者：佐々木 丈予(東京成徳大学)

江田 香織(東洋大学)

阿部 成雄(法政大学)

■ラウンドテーブル・ディスカッション2(大ホール)

「育成年代アスリートへの心理支援を考えるー現場に関わる多職種の声を聴くー」

企画・司会：富永 哲志(ハイパフォーマンススポーツセンター)

話題提供者：高山 智史(長野大学)

宇佐美 暁規(秋田県観光文化スポーツ部)

齊藤 匠(一般社団法人日本車いすバスケットボール協会)

指定討論者：大坪 香菜子(ハイパフォーマンススポーツセンター)

■ラウンドテーブル・ディスカッション3(中ホール)

「SMTの視座と取り組みに関する議論の場づくり

ー海外の研究に関する情報共有をもとにー」

企画・司会：平川 武仁(大阪体育大学)

話題提供者：奥野 真由(久留米大学)

山田 弥生子(追手門学院大学)

4. 一般発表演題一覧

□頭発表 A～C

ポスター発表 A・B

10月18日（日）

口頭発表 A

10月18日（日）9時30分～11時45分

会場：県民ホール

OA-1 セッション

座長：小谷 克彦（北海道教育大学）

OA1-1

スポーツ心理学の知見を学校教育に活かすスクールカウンセラーにできることー

本山 修（長崎県スクール
カウンセラー）

OA1-2

自己成長を重視する考え方の再検討

安田悠杜（James Cook University
Singapore）

OA1-3

「何も教わらなかった」指導者はいかに自己を語り直すのかー対人暴力の「時代」を生きた指導者に関する個性記述的アプローチー

豊田 隼（東京大学・
日本学術振興会）

OA-2 セッション

座長：西田 順一（近畿大学）

OA2-1

月経随伴症状および月経イメージの関連ー大学女子アスリートー一般女子大学生の比較ー

大田亜海（大阪体育大学大学院）

OA2-2

中学生のソーシャルスキル獲得における部活動地域展開の役割ー競技場面と日常生活のソーシャルスキルの般化に注目した横断的調査ー

三上陽彦（筑波大学大学院）

OA2-3

大学運動部員の情緒的コミットメント向上のためのループリックを用いた組織市民行動促進プログラム

小川尚人（慶應義塾大学大学院）

10月18日（日）

口頭発表B

10月18日（日）9時30分～12時05分

会場：大ホール

OB-1 セッション

座長：川田 裕次郎（順天堂大学）

OB 1-1

サッカーのPK戦における高圧局面でのキック
ー2026年J.LEAGUE百年構想リーグを事例
としてー

小竹礼峻（名古屋大学大学院）

OB 1-2

投・送球イップス評価尺度作成に向けた因子構
造の探索的検討

稲田愛子（広島大学大学院・
立命館大学）

OB 1-3

名前を付加した応援は認知的評価を変えるの
か？

小笠希将（名古屋大学）

OB -2 セッション

座長：門岡 晋（岩手大学）

OB 2-1

チーム機能の言語化を媒介とした心理的安全性
の介入設計と検証

甲谷勇平（慶應義塾大学大学院）

OB 2-2

競技の違いは心理的安全性の変動とその関連要
因を調整するかーサーバント・リーダーシップ
との縦断的関連に着目した検討ー

上田 寛（広島大学大学院・
日本学術振興会）

OB 2-3

ソーシャルサポート授受における自己評価と他
者評価の不一致ーアスリートの互惠タイプに着
目した総当たり評価に基づく検討ー

中嶋希和（筑波大学大学院）

OB 2-4

誰がチームメイトの悩みを聞き、誰に相談する
のか？—標的型の個人競技を対象とした 4 波の
縦断的社会ネットワーク分析—

松原旭飛 （日本体育大学大学院）

10月18日（日）

口頭発表 C

10月18日（日）9時30分～12時05分

会場：中ホール

OC-1 セッション

座長：山本 耕太（北星学園大学）

OC 1-1

流れの AI モデリングによる投球動作の最適化—
動作への入り方から全体を変える—

高御堂良太（鹿屋体育大学）

OC 1-2

上肢到達運動における速度—正確性調整機構の
解明

戸松太一（京都大学大学院）

OC 1-3

個人間運動同期の神経基盤—自他の運動ダイナ
ミクスに着目した 2 者同時 fMRI 研究—

宮田紘平（東京大学大学院）

OC -2 セッション

座長：長谷川 弓子（中京大学）

OC 2-1

ゴルフショットのルーティーンにおける視線行
動の検討

國部雅大（筑波大学）

OC 2-2

VR 捕球課題を用いた頭部運動に伴う前庭感覚
入力の捕球タイミング予測への寄与の検証

原蘭迪子（東京都立大学
大学院）

OC 2-3

固視点と注意対象の角度的乖離が片足立位時の
重心動揺に及ぼす影響

宮口貴義（金沢大学大学院）

OC 2-4

土屋 敦 (中京大学大学院)

競技特性の異なるアスリートにおける周期的鉛
直上下動の知覚特性ーラグビー選手・競泳選手
および一般成人の比較ー

10月17日（土）

ポスター発表 A

10月17日（土）11時15分～12時15分

会場：ギャラリー第1

PA1

動的環境では Fitts の法則は成立するかー距離変化の予測可能性を操作した探索的検討ー

村上宏樹

（金城大学）

PA2

不連続な随意運動に潜むカオス性と制御の内部構造ー生命の能動性に関する予備的アプローチー

若月 翼

（東京農工大学）

PA3

時間的制約がフェイントへの誤反応率に及ぼす影響ー側方ステップ課題による検討ー

三枝徹平

（筑波大学大学院）

PA4

簡易的な動画解析によるゴルフスイングの熟達差・個人差の検出

山本耕太

（北星学園大学）

PA5

重力が上肢運動および運動イメージの時間的性質に及ぼす影響

奥内蒼馬

（京都大学大学院）

PA6

サッカー場面における周辺選手の先行運動がボール保持者の方向判断に与える影響ー動的フロンカー課題を用いた検討ー

坂部崇政

（京都教育大学）

PA7

野球経験の有無がVR選球課題成績に及ぼす影響

生天目 陸

（北翔大学大学院）

PA8

観察学習における映像選択タイミングの違いが運動学習と瞳孔散大へ及ぼす影響

廣光佑哉

（大阪電気通信大学）

PA9

プレッシャー下での自動模倣と自己愛の関係ーモーグル選手を対象とした実験ー

田中美吏

（武庫川女子大学）

PA10 感情画像提示中における主観的感情価と身体指標の時系列的関連—心理状態評価に向けた予備的検討—	高山 彩	(福岡大学)
PA11 ハイタッチによるフィードバックが学習速度やパフォーマンスにもたらす影響	英 彩音	(東洋大学大学院)
PA12 運動を苦手とする学生の注意の焦点づけに関する探索的研究	鈴木 敦	(千葉経済大学)
PA13 大学剣道競技者の対人的技能における視線行動に関する研究	阿部 碧	(筑波大学大学院)
PA14 オープンスキルスポーツの経験によって特性不安が脳内情報処理過程に及ぼす影響は変わるのか	渡邊浩輝	(大阪体育大学大学院)
PA15 競技状態不安 (CSAI-2) とイメージ能力 (SIAQ-J) との関係—日本独立球団野球選手を対象とした研究—	SONG BONGGIL	(早稲田大学大学院)
PA16 知的障害者における聴覚・視覚ワーキングメモリ優位性とフィードバック条件の組み合わせがペダリング学習に及ぼす影響：適性処遇交互作用	下稲葉耕己	(順天堂大学大学院)
PA17 大学生レスリング選手における競技力と心理的特性に関する探索的研究—Grit・Growth mindset・情熱に着目して—	北川和彦	(東海大学医学部付属八王子病院)
PA18 ネガティブ・ケイパビリティからみるスポーツ選手の熟達化過程—停滞と揺らぎがもたらす意味生成の質的研究—	北村勝朗	(日本大学)

PA19 ジュニアフィギュアスケート選手の心理的能力 と心理的課題ーJISS 競技心理検査を用いてー	筒井 香（株式会社 BorderLeSS）
PA20 テニス競技における熟達化過程に関する縦断的 検討ー学生アスリートを対象にー	竹村りょうこ （上智大学）
PA21 心理的安全性を重視した創作ダンスが中学生の Well-being に及ぼす影響	堀家弥姫 （広島大学附属福山中・ 高等学校）
PA22 大学競技者が認知する指導者のフィードバック 行動と動機づけ調整スタイルとの関連ー指導者 との親和的信頼感に着目してー	藤本太陽 （大阪産業大学）
PA23 サッカー観戦における心理的効果の検討ー感動 経験の想起による心理的効果の影響ー	柳瀬智貴 （東洋大学大学院）
PA24 複数競技のアスリートにおける戦況認知とパフ ォーマンス変動ー劣勢からの立て直しと優勢か らの崩れに着目した質的研究ー	熊谷史佳 （金沢大学大学院）
PA25 アスリートの理由統合型達成目標志向性の因子 構造とメンタルヘルスとの関連	新田恵子 （広島大学大学院）
PA26 大学男子サッカー選手における試合前の心理状 態と試合後の主観的パフォーマンス評価との関 連	服部健世 （早稲田大学大学院）
PA27 「価値が合っている」と思えるアスリートは幸 せか？	荒井弘和 （法政大学）
PA28 選手がアントラージュとの関係において抱える ストレスに関する質的・量的研究	木村文子 （広島大学大学院）

PA29 離島高齢者を対象とした健康づくりプログラムの試行的実践ー運動機能および転倒予防自己効力感の変化の検討ー	陳昱龍	(至誠館大学)
PA30 中学生女子バレーボール選手を対象とした全国大会優勝チームにおける人柄類型・精神健康度に関する考察ー内田クレペリン検査による検討ー	保井智香子	(立命館大学)
PA31 学生アスリートの身体症状・負傷頻発経験に関する心理的特徴の検討ー質問紙尺度を用いた3群間比較ー	碓氷真吾	(国土舘大学大学院)
PA32 学生コーチは日々の記録に何を書くのかーデイリープレゼンテーションにおける記述内容の分布と経時変化ー	草薙健太	(中京大学)
PA33 日本学生選手権に向けたチーム内のソーシャルサポートの変化	林 真子	(法政大学大学院)
PA34 ハイパフォーマンス領域で活動する栄養士が大切にしていることー半構造化インタビューによる探求ー	三好友香	(大阪体育大学大学院)
PA35 アスリート版援助要請に対するスティグマ尺度の開発ースティグマの評価主体と援助要請の内容に基づくクロスローディングモデルによる検討ー	伊藤萌々子	(筑波大学大学院)
PA36 日本体育大学における心理サポート活動の現状と課題ー2025年度の活動を中心にー	高井秀明	(日本体育大学)
PA37 大学男子ラグビー選手における身体組成指標およびシルエット図指標の経時的変化	深見柊真	(日本体育大学)

PA38 体育・スポーツを専門とする大学生のレジリエ ンスの構造	大西壮流	(大阪体育大学大学院)
PA39 中学柔道指導者における指導の考え方を獲得す るプロセスー指導経験による人間形成を目的と した指導に着目してー	柴田大地	(日本体育大学)
PA40 在日中国人サッカー留学生に関する研究ー高校 におけるサッカー部に着目してー	張 睿昊	(早稲田大学大学院)
PA41 海外で活動する日本人サッカー指導者はいかに 異文化適応を行うのかーReflexive Thematic Analysis による検討ー	張 原赫	(早稲田大学大学院)
PA42 エキスパートコーチはいかにして指導哲学を構 築するのかーU18 年代チームスポーツ指導者を 対象とした事例研究⑤ー	堀野博幸	(早稲田大学)
PA43 バスケットボール指導者における指導観の変容 過程ー威圧的指導からの転換経験に着目してー	木内健太	(北翔大学大学院)
PA44 大学一般教養体育における Transformational Teaching Questionnaire 日本語版の作成およ び構成概念妥当性の検討	深見将志	(日本大学)

10月17日 (土)

ポスター発表 B

10月17日 (土) 13時15分～14時15分

会場：ギャラリー第1

PB1

状態空間モデルと階層ベイズ推定法を用いたアスリートのコンディショニングとその個人差のモデリング

八斗啓悟

(筑波大学大学院・
日本学術振興会特別
研究員)

PB2

二次元得点構造における最適狙い位置とヒトの運動計画の比較—下手投げ投球課題を用いて—

上野壮士朗

(筑波大学大学院)

PB3

全身の感覚運動同期課題におけるダンス経験者と未経験者の比較—足圧中心動揺と主観的難易度の観点から—

丸尾祐矢

(昭和女子大学)

PB4

個人特有のテンポとパフォーマンス発揮についての検討—歩行由来テンポに着目して—

藪内雄太

(福岡大学大学院)

PB5

心理的プレッシャーは捕球を崩すか—VR 高速ボール捕球課題を用いた検証—

井上純輝

(東京都立大学大学院・
ソニー株式会社)

PB6

眼球運動及び両手協調運動と片足閉眼バランスを組み合わせたトレーニングはアスリートのバランスを即時的に安定させるのか？

松浦佑希

(宇都宮大学)

PB7

VR 環境における距離知覚・行為可能性知覚の誤差に関する検討—実環境との比較と空手の組み手場面を通して—

木島悠人

(筑波大学大学院)

PB8

香り刺激による注意状態の変化はサッカー対人課題における攻防相互作用を修飾する—攻撃・守備の役割要求に着目した 4 対 4 対 4 スルーパス課題による検討—

志水弘典

(株式会社マングラム・
北里大学)

PB9	ゴルフパッティング時の眼－ボール相対位置とフェース照準－優位眼・熟練度との関連－	長谷川弓子	(中京大学)
PB10	マルチスポーツが子どもの手脚の器用さへ与える影響	石戸和香那	(ミズノ株式会社)
PB11	個人の学習進度に応じた知覚トレーニングの開発－Optimal Challenge Point への滞在を促す難易度調整法の検討－	月岡伊緒	(東京都立大学大学院)
PB12	スリーポイントシュート遂行における視線行動の特徴とその機能的役割－女子大学バスケットボール選手を対象とした分析－	下園博信	(福岡大学)
PB13	アスリートにおける制御焦点の組み合わせと熱望・警戒イメージ利用の特徴	相川 聖	(国立スポーツ科学センター)
PB14	相対的な成績と競争段階が競技パフォーマンスに及ぼす影響－Bリーグデータを用いて－	清水登大	(筑波大学大学院・びわこ成蹊スポーツ大学)
PB15	大学ウエイトリフティング選手における心拍数からみた試合中のストレス反応	持田慶貴	(日本大学大学院)
PB16	アーチェリー競技のトップアスリートにおけるパフォーマンスの安定化を目指した事例研究－バイオフィードバックを用いた心理的介入－	折茂紗英	(日本体育大学)
PB17	車いすテニスアスリートにおける実力発揮プロセスの質的検討	富永哲志	(ハイパフォーマンススポーツセンター)
PB18	サーフィン競技者のパフォーマンスに影響を与える要因は何か？	澤田七奈緒	(法政大学大学院)

PB19	サッカーにおけるコミュニケーションが困難な状況の分類と場面刺激作成ー大学サッカー選手を対象としてー	加藤 憲	(大阪体育大学大学院)
PB20	モチベーションビデオの使用目的別分類についての一考察ー実践事例の構成要素における特徴の比較検討ー	永尾雄一	(国立スポーツ科学センター)
PB21	心理的レジリエンスを促進するスポーツ指導者の支援方略 に関する探索的検討ーフィギュアスケート競技における指導者の自律性支援に着目してー	田中 薫	(同志社大学大学院)
PB22	男子大学生ウェイトリフティング選手における競技会 2 時間前の競技状態不安と競技達成率に関する検討	鶴田幸大	(法政大学大学院)
PB23	大学生アスリートのコンパッションへの恐れと日常・競技ストレスーとの関連	佃 透唯	(エクスチュア株式会社)
PB24	大学生アスリートにおける認知的方略と競技経験の特徴ー競技レベルおよび競技歴に着目してー	矢作彩芽	(国土舘大学院)
PB25	指導者からの言葉かけに対する選手の受け取り方に関する研究ー認知的特性に着目してー	吉川智慧子	(日本大学大学院)
PB26	小学校の体育授業における内外発的動機づけに関する文献検討ー自己調整と自己決定の視点から学習のあり方を考えるー	清野宏樹	(桃山学院教育大学)
PB27	大学運動部活動における早期離脱経験の心理的過程ー継続を前提としていた学生へのインタビュー調査ー	實宝希祥	(九州共立大学)

PB28	高校生バレーボール部員におけるライフスキルとバーンアウトの関係：サンプル数拡大による再検証	時田晃佑	(法政大学大学院)
PB29	中高生野球部員におけるメンタルタフネスの形成プロセスの検討	瀬尾樹哉	(信州大学大学院)
PB30	体操競技選手のメンタルヘルスに関する質的研究ーストレス認知・コーピング・支援の分析ー	平田大輔	(専修大学)
PB31	女子アスリートにおける夜間副交感神経活動と抑制制御との関連ー1月経周期にわたる前向き日々次縦断研究ー	余村花梨	(新潟医療福祉大学大学院)
PB32	女性アスリートにおける批判的思考態度と食行動異常との関連	煙山千尋	(岐阜聖徳学園大学)
PB33	競技復帰の分岐点にある女性アスリートの経験ーテーマティック分析を用いた事例研究ー	篠田ゆり	(大阪体育大学大学院)
PB34	青年期の女子体操競技選手における摂食障害傾向ー学校段階および競技成績、月経状態に着目してー	坂口彩夏	(日本体育大学大学院)
PB35	主体性の育成を目的とした大学女子球技部に対する年間心理サポートの実践	畝中智志	(北翔大学)
PB36	コーチとの関係性が学生アスリートのフローリッシングに及ぼす影響ー陸上競技と他の個人競技の比較ー	鈴木 凧	(近畿大学大学院)
PB37	大学競泳部員におけるライフスキルおよび集団心理機能の獲得水準に基づく類型化ー潜在クラス分析による検討ー	辻出蒼馬	(天理大学大学院)

PB38

大学生版メンタルヘルスリテラシー測定尺度作成の試みー因子分析および信頼性・妥当性の検証ー

菅野慎太郎 （日本大学松戸歯学部・
日本大学大学院）

PB39

マカオの高校サッカー指導者のコーチング哲学とその形成過程に関する事例研究

LAM MANLOK （早稲田大学
大学院）

PB40

ビーチバレーボール選手に対するスポーツメンタルトレーニングのオートエスノグラフィー

橋本涼加 （トヨタ自動車株式会社）

PB41

指導スタイルが選手の主体性に与える影響ー大学生アスリートが認識する指導の特徴に着目してー

小宮さくら （国土館大学大学院）

PB42

メンタルトレーニング指導と個別化プレッシャートレーニングを組み合わせた心理支援プログラムの実践ー大学ソフトテニス選手を対象とした予備的検討ー

水野寛太 （東洋大学）

PB43

アスリートの競技経験は就業場面でいかに発揮されているのかーアスリートとしての自己に着目したスキル般化モデル作成の試みー

並木伸賢 （新潟医療福祉大学）

PB44

女子大学生アスリートにおける食および月経に関する知識・意識・リテラシーの比較ー競技特性とBMIに着目してー

山中 恕 （大阪体育大学）

運営組織

日本スポーツ心理学会第53回大会実行委員会

大会実行委員長	森 司朗	(鹿屋体育大学)
大会事務局長	幾留沙智	(鹿屋体育大学)
実行委員	中本 浩揮	(鹿屋体育大学)
	高御堂 良太	(鹿屋体育大学)
	渡邊 諒	(鹿屋体育大学)
	村川 大輔	(鹿屋体育大学)
	畝中 智志	(北翔大学)
	水崎 佑毅	(周南公立大学)
	小笠 希将	(名古屋大学)
	亀井 誠生	(国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構 食品研究部門)
	益成 萌	(鹿屋体育大学)
	大塚 理瑚	(鹿屋体育大学)
学生委員	林 大貴	(鹿屋体育大学大学院)
	三宅 鱗太郎	(鹿屋体育大学大学院)
	竹添 未咲	(鹿屋体育大学大学院)
	三島 未琴	(鹿屋体育大学大学院)
	林 剛志	(鹿屋体育大学大学院)
	貝原 李采	(鹿屋体育大学大学院)

大会事務局 鹿屋体育大学体育学部 森司朗研究室内
〒891-2393 鹿児島県鹿屋市白水町 1 鹿屋体育大学 森司朗研究室内
TEL : 0994-46-4979 E-mail : conf@jssp.jp

大会協賛企業等ご芳名

アイエムエフ株式会社

インターリハ株式会社

株式会社北大路書房

株式会社誠信書房

第一学習社

株式会社 NAMOTO

株式会社マンダム

国立大学法人鹿屋体育大学

株式会社アプライドオフィス

株式会社怪物

サクセス・ベル株式会社

ソニー株式会社

株式会社大修館書店

株式会社文成印刷

株式会社ミユキ技研

本大会を開催するにあたり、上記の方々より多大なご支援を頂きました。ここにご芳名を記して、感謝の意を表します。



本事業は、公益財団法人鹿児島観光コンベンション協会のMICE 開催補助金を活用しております。

また大会企画シンポジウム「スポーツ心理学における「運動発達」研究の可能性—「発達」から「障がい」まで—」の開催には、日本スポーツ体育健康科学学術連合の補助金を活用しております。

日本スポーツ心理学会第 53 回大会実行委員長

森 司朗